

環境調査結果のお知らせ

令和元年11月27日午前9時から浦ノ内湾の環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温19～20℃、塩分32～33、溶存酸素量6mg/lでした。
透明度は3～4mで、有毒・有害種は確認されませんでした。

水温と塩分(表1・2)

湾内の環境は、水温19.3～20.2℃、塩分32.0～33.0でした。
前回調査時(R1.10.16)と比較して、水温は全層で5.7～6.0℃下降しました。塩分は全層で0.9～1.8
上昇しました。

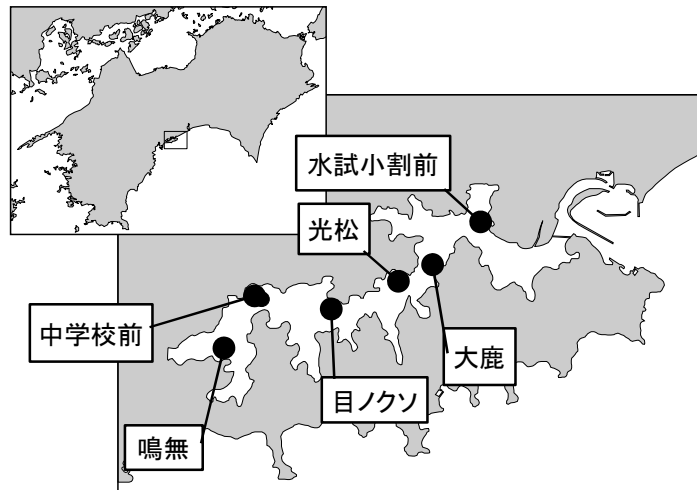
溶存酸素量(表3)

溶存酸素量5.7～6.4mg/lでした。
前回調査時(R1.10.16)と比較して、全層で0.2～1.0mg/l増加しました。

透明度・プランクトン(表4・5)

透明度は3.1～4.1mでした。
検鏡の結果、有毒・有害種は確認されませんでした。

海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。



漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモトイ: 数百～数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・シャットネラ属: 10～100cells/ml(魚類へい死)
- ・ヘテロシグマ・アカシオ: 50,000cells/ml～(魚類のへい死)

環境調査結果表(水温・塩分・プランクトン等)

表1 水温(°C)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(10/16)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	19.3	19.7	19.8	19.8	20.1	19.8	25.5	▲ 5.7
2m	19.4	19.8	19.8	19.9	20.1	19.8	25.8	▲ 6.0
5m	19.6	19.8	19.9	19.9	20.1	19.9	25.8	▲ 5.9
10m	19.7	19.8	19.9	19.9	-	19.9	25.8	▲ 5.9
B-1m	19.7	19.7	19.9	20.0	20.2	19.9	25.7	▲ 5.8

表2 塩分

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(10/16)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	32.3	32.0	32.7	32.6	32.7	32.4	30.6	1.8
2m	32.5	32.6	32.7	32.7	32.9	32.7	30.9	1.8
5m	32.6	32.6	32.8	32.7	33.0	32.7	31.0	1.7
10m	32.6	32.7	32.8	32.8	-	32.8	31.7	1.1
B-1m	32.6	32.7	32.9	32.9	33.0	32.8	31.9	0.9

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(10/16)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	6.3	6.4	5.9	6.1	6.2	6.2	6.0	0.2
2m	6.1	6.2	5.9	6.0	5.8	6.0	5.4	0.6
5m	5.7	6.1	6.0	6.0	6.0	6.0	5.0	1.0
10m	6.0	5.9	5.9	5.9	-	5.9	5.1	0.8
B-1m	6.0	5.8	5.8	5.9	6.2	5.8	5.2	0.6

※ 目ノクソ・光松・大鹿の平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前
水深	13.1	15.7	17.8	17.4	9.9
透明度	3.5	4.1	3.8	3.9	3.1
前回(10/16)	5.8	6.2	5.2	5.9	4.9

表5 プランクトン(cells/ml)

	カレニア・ ミキモトイ	シャットネラ属	ヘテロシグマ ・アカシオ	珪藻類	
中学校前	0m	0	0	110	
	2m	0	0	190	
	5m	0	0	220	
	10m	0	0	170	
	12m	0	0	110	
目ノクソ	0m	0	0	520	
	2m	0	0	440	
	5m	0	0	280	
	光松	0m	0	0	20
		2m	0	0	280
5m		0	0	350	
10m		0	0	15	
17m		0	0	40	
大鹿	0m	0	0	270	
	2m	0	0	370	
	5m	0	0	470	
水試小割前	0m	0	0	100	
	2m	0	0	90	
	5m	0	0	40	
鳴無	3m	0	0		